

【2学期始業式の学校長の話】

おはようございます。長かった夏休みも終わり、いよいよ今日から2学期がはじまります。まずは、ここにいる皆さんが大きな事故や事件等に遭うことなく、無事に今日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

皆さん、夏休みはどのように過ごしていましたか。今年もコロナ禍での夏休みとなってしまったことで、いろんな行動が制限され、楽しみが少なかったという人もいるでしょう。いや、制限されたことで部活に打ち込んだ、家で勉強に打ち込んだ。なんて思っている人もいるかも知れません。私（校長）はというと、どこにも出かけることなく、ほとんどの日を学校と家との往復で、仕事に打ち込んだ夏休みでした。それと、部活動に打ち込んでいる生徒の皆さんの活動をこの目でゆっくりと見ることができた夏休みでもありました。それと、今年はオリンピックが日本で開催されるという年でもあったので、オリンピックを見るということの楽しみもありました。開催前は、開催することに対して、いろんな意見や情報が飛び交ってはいましたが、開催される以上、参加している選手たちをこの目で見て楽しもうと考えていました。オリンピックを見る時間もなく、忙しかったという人がいたら、ごめんなさいね。少しだけ、オリンピックの話をしませう。

私は今までオリンピックの開会式をテレビで何回も見てきましたが、今年は、東京開催ということもあり、今までとは少し違った感覚でテレビにかじりついていました。何より、大坂なおみ選手が聖火台に灯した火は、実際に4月12日の対面式の日に、みんなで見た、本校の前の道を走っていた聖火ランナーが持っていたあの火が、最終的に国立競技場の聖火台に届いたのだと実感した瞬間でもありました。大会は17日間でしたが、毎日のように日本の選手がメダルを獲得し活躍する姿を目にしたと思います。中には、皆さんと同じ中学生が出演していたり、メダルを獲得したりしているシーンもありました。

必死に戦う選手たちを見て、勇気や感動を与えてもらったと感じたのは、私だけではないと思います。また、メダリストたちが口をそろえて言っていた、「いろんな人の支えがあったから今回の開催が実現したと思う。感謝の気持ちがいっぱいです。」という言葉が印象的でした。

もう一つ、印象に残ったことがあります。それは、お辞儀をしている日本選手の姿です。相手に対して、また、審判に対して、さらには、競技場という会場やその空間に対してお辞儀をしている姿は、本当に印象的で、その礼儀正しさは、周りの選手からも賞賛されていました。それと、ボランティアなどの大会関係者の心温まるおもてなしも、世界中から賞賛されていたことに、私は、テレビを見ていただけですが、何か誇らしげに思いました。何気なくしているお辞儀の姿って客観的に見るといいもんですね。私も普段から実行したいなと思いました。

昨日からはパラリンピックが始まりました。開会式の様子をテレビで見た人もいたと思いますが、このパラリンピックの開会式にはコンセプト（全体を通した基本的な考え方）というものがあって、この東京大会のコンセプトは、「WE HAVE WINGS（私たちには翼がある）」というもので、障がい者であってもパラ選手のように、「逆境でも勇気を出して翼を広げることで、思わぬ場所に到達できる」という意味が込められています。また12日間の競技の後には閉会式がありますが、その閉会式のコンセプトは、「Harmonious Cacophony（調和する不協和音）」となっているようです。「違いがあることで対立が生じるのではなく、新たな未来が生まれていく」との意味だとしています。障害を持っていても決してそれをマイナス面とは考えず、人一倍努力を重ねているアスリートたちが開催前からテレビなどを通じて紹介されていました。また、その人たちを支え、共に競技に立ち向かう支援者の姿も紹介されました。この大会でも、オリンピック同様にたくさんの勇気と感動がもらえるのではないかなと思っています。私は日本選手に限らず、すべての選手をテレビの前ですが応援したいと考えています。

さて、今日から2学期が始まりますが、皆さんも知ってのとおり新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、全国的に猛威を振っています。奈良県内でも、また、この香芝市でも例外ではなく、感染力の強いデルタ株の拡がりは非常に怖い状態です。皆さんも、また、先生方も今一度、感染対策の徹底にはみんなが一丸となって取り組まないといけないと思います。

学校内外問わず、人との間隔を十分取って、会話はできるだけ正面は避けることや、教室の換気、こまめな手洗いやうがいの徹底、マスクの着用は言うまでもありません。来週からは給食も始まりますが、食事の際やその準備のときからも、会話を控えるなども、今一度見直さなければなりません。食事のときもそうですが、一番心配なのがマスクを外しているときです。それは、体育や部活動をしているときもそうです。熱中症のこともあるので、運動しているときはマスクを外すことがありますが、この時の接近した場面での会話は控えるようにしてください。それと、毎日の健康観察です。自分の体調管理はもちろんのこと、発熱等の風邪症状がある場合は、決して無理をせず登校を控える。これは、ご家族がその状態であっても同じです。体調面で心配なことやわからないことがあったら、学校に連絡してください。

ウイルスは人を選びませんので、感染する可能性は誰にでもあります。私（校長）もワクチンをもう2回接種はしましたが、それでも例外ではなく感染するかもしれません。しかし、大事なことは、もしも感染してしまった人がいたとしても、学校内ではクラスターを起さない。その取組が大事だと思います。そのことが、先ほど話した内容です。みんなが一丸となって取り組んでください。

最後に。久しぶりの学校で、もしかしたら心が不安になったり、心配になったりすることがあるかも知れません。そんなときは遠慮することなく、担任の先生や学校のどの先生でもいいので相談してくださいね。

それでは、本校のスローガンでもある、東（英語でイースト）のアルファベットを使った、E（笑顔）A（あふれる）S（素敵な）T（東中）、『笑顔あふれる素敵な東中』になるように、みんなが笑顔で自然と挨拶ができる学校、みんなが協力してお互いを高め合える素敵な学校であってほしいと願っています。